

〔1〕 調査の目的・概要、調査結果の概要

1. 調査の目的

児童生徒一人一人の学力の定着状況や学習に対する意識及び生活実態を把握し、調査結果を指導方法や指導内容の改善に役立てるとともに、児童生徒一人一人に応じた確かな学力の向上を図る。

2. 調査の概要

○調査の対象学年と対象児童生徒数・教員数、調査方法と調査教科・内容

調査の種類と対象学年等		学校数	対象者数	調査教科・内容
教科に関する調査	小学5年生	167校	12,831人	国語・社会・算数・理科
	中学2年生	84校(特別支援学校中学部2校含む)	11,433人	国語・社会・数学・理科・英語
質問紙調査	小学5年生	167校	12,831人	学習に対する意識・生活実態調査
	中学2年生	84校(特別支援学校中学部2校含む)	11,433人	
	教員	小167校	3,564人	児童生徒の学習状況・学校教育活動に関する調査
		中84校(特別支援学校中学部2校含む)	2,066人	

○標準実施日

平成26年10月21日(火)、22日(水)

3. 結果の概要

○教科に関する調査

(1) 各教科の平均正答率

(単位：%)

	教科	市平均正答率	参考値	比較		市平均正答率	参考値	比較
小学校5年生	国語	66.7	70.6	-3.9	知識	68.5	71.8	-3.3
					活用	62.8	68.0	-5.2
	社会	69.8	71.1	-1.3	知識	69.6	72.4	-2.8
					活用	70.4	68.5	+1.9
	算数	59.0	63.1	-4.1	知識	63.6	69.8	-6.2
					活用	50.2	50.1	+0.1
	理科	64.4	67.7	-3.3	知識	66.8	72.0	-5.2
					活用	58.5	57.0	+1.5
中学校2年生	国語	68.7	68.4	+0.3	知識	71.6	71.2	+0.4
					活用	62.6	62.7	-0.1
	社会	55.6	53.8	+1.8	知識	61.6	60.1	+1.5
					活用	39.1	36.4	+2.7
	数学	61.3	54.5	+6.8	知識	69.2	62.7	+6.5
					活用	44.0	36.4	+7.6
	理科	53.5	52.6	+0.9	知識	57.2	55.9	+1.3
					活用	45.7	45.8	-0.1
	英語	66.6	59.4	+7.2	知識	73.2	66.9	+6.3
					活用	52.3	43.1	+9.2

(2) 教科に関する調査結果概要

- ・小学校では、すべての教科において平均正答率が参考値を下回っている。
- ・小学校社会は「概ね定着している」と評価できるが、他の3教科は参考値を3ポイント以上下回っており、「課題がある」という結果だった。
- ・中学校では、すべての教科において平均正答率が参考値を上回っている。
- ・中学校数学・英語は3ポイント以上参考値を上回っており、「良好である」という評価であり、国語・社会・理科では「概ね定着している」と評価できる。

〔Ⅱ〕 学習指導のより一層の充実に向けて

今回の定着度調査の結果と昨年4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果と併せ、以下の観点を意識して、学力の定着・向上の取組を図っていきましょう。

“個に応じた指導を充実させましょう”

～知識・技能の定着のために～

- 1 理解の定着を図るための指導の時間を授業の中で確保しましょう。
- 2 授業の中で、実生活と関連づけた指導を図りましょう。
- 3 自分の考えの根拠を明らかにして発表ができるように指導しましょう。

“授業の内容・質を高めましょう”

～児童生徒が、その日の指導事項を身につけるために～

- 1 単元冒頭の授業で、児童生徒が単元全体の見通しを持ち、興味・関心を高められるような内容を工夫しましょう。
- 2 授業のめあて、ねらいを伝えることと合わせ、授業の最後には次の学習に対する意欲につながるような振り返りの時間を確保しましょう。
- 3 すべての教科で言語活動を取り入れ、指導の充実を図りましょう。

“学校のチーム力を高めましょう”

～学校全体の学力の傾向などを共通理解して授業に臨むために～

- 1 自校の学力の傾向や課題について、学年を越えて全教員で共通理解したうえで、授業をどう組み立てるべきか工夫しましょう。
- 2 宿題の与え方等について、校内・学年の共通理解をしましょう。

「学校のチーム力」とは … 学力の傾向や課題を共通理解したうえで、児童生徒一人一人の「学力の樹」を育てていくために、教員が一丸となって取り組んでいく学校全体の組織としての力を指します。

神戸市学力定着度調査と全国学力・学習状況調査をふまえた PDCA サイクル

